

うに郷通信

No.127
令和2年(2020)1月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

年頭のご挨拶

会長 稲木善英



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、山積していましたが懸案事項を皆様方のご協力で一つ一つ解決に向けて努力をしてきた結果、一定の前進が見られました。

宇仁郷歴史資料館では、地区外の方の応援も含め延べ1,000人以上のボランティアの方々による整理整頓作業で「本と会員カードのバーコード化」が実現し、その6,400冊の歴史書他の蔵書を6町のボランティアの協力で貸し出す「吉田省三記念文庫」が昨年6月16日にオープンしました。

そして翌7月には、年間100回以上の開催で「安全安心安価」「地産地消」を支え続けてきた宇仁の朝市が10周年の快挙を達成しました。

また秋まで延期されていましたが、宇仁地区の土地活用で大変有利となる改革案が県の認可を受け新しい「特別指定区域制度」が導入されました。この制度は子まで利用可の旧制度を孫の代まで広く活用できる等の、住民にとって大変緩和された土地利用制度で、医院や各種商店の開業も出来るようになりました。

若者や子どもたちのUターン・Iターンも進みました。3町で7世帯 20人余りになる予定です。(うち1世帯3人は予定)

これらに加えて、10月には早期導入が期待されていた「地域主体型交通」が加西市と協議の結果、今春から「試験運転」を始めることで合意しました。試験運転を始めますと、駐車場や事務所が必要になってきます。大変無念ではありますが、3月で閉園となる宇仁幼稚園を借用してこれに充てる計画を進めています。

以上いろいろと申し上げてまいりましたが、本年もこれまで同様皆様方のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



田谷町(上)と小印南町(下)のUターン世帯住宅

佐治地域自治協議会の皆さんが朝市を視察



12月14日(土)、丹波市青垣町の佐治地域自治協議会の皆さんがバスに乗って宇仁の朝市の視察に來られました。

佐治地域自治協議会は、旧青垣町役場の「佐治来楽館」を拠点に朝市活動をされており、地域包括ケアとしてや高齢者の交流・憩いの場として朝市を運営されているそうです。

質疑応答では、初代朝市部会長が詳細を説明し、自前でレジと連動した商品バーコード販売管理システムを作り上げて、現金・売り上げや支払いなどの収支を管理していることに大変驚かれていました。

視察後、ふれあい交流広場部会や子育て支援活動にも関心を寄せられ、「我々の地域では、幼保や小学校の統廃合が進み、今は若者達が住まなくなりました。地域から小学校がなくなると様々な交流や活気もなくなり、住んでいる人達の付き合いも希薄になってしまっています」と。また、「今この様な現実を経験している地域の者として言わせていただくが、地域に幼保や小学校などは絶対に必要です！ 地域から小学校がなくなるように頑張ってください！」との熱い思いを伝えていただき、次なる目的地へと移動されました。(事務局)

ほっとトークだより

子育てほっとトークで寄せ植えをしました。花苗は宇仁郷まちづくり協議会から、葉牡丹と土はふれあい館から提供いただき、稲木秀子さんに教えてもらいながら作りしました。参加したママさんは、「初めて寄せ植えをして、とても楽しかったです」「春まで元気に育つように教えてもらったり、レイアウトのこつも教えてもらってよかったです」子どもと一緒に、優しく水やりをして、「大きく育ててねー！」

(子育てほっとトーク)



2019年の山行を振り返って

忘れ難い山行は、5月の弥仙山(綾部市)。一昨年の台風被害で不通になっていた府道74号で通行止表示を見落とし突入。崩落地点直前の陥没した路面でU氏の車が立ち往生。一時間余の悪戦苦闘の末脱出。別ルートで登山口に向かい、無事登頂。午後、天気急変。雷鳴に脅され急ぎ下山。本降り前に車に戻り、安堵。車脱出作業と迂回によるタイムロスで、帰路の入浴を断念。このハプニングも、今は良き思い出です。

残念だったのは、8月の中央アルプス木曾駒ヶ岳～空木岳縦走と10月の由良ヶ岳(宮津市)登山を、悪天候のため中止したこと。今年、再計画します。

ちなみに、昨年は私にとって記念すべき年。6月の三成山・牛ヶ峰山(新温泉町)登頂で、「兵庫百山」(神戸新聞選)に完登！山遊会のお陰です。

我が会のモットーは「無理のない計画で楽しい山行」です。新規参加者大歓迎！ (宇仁山遊会代表 繁田泰朗)



12月8日、黒鉄山(赤穂市)山頂にて
(この夜は忘年会、翌日尼子山へ)

さつまいも祭り

11月30日(土)さつまいも祭りが行われ、孫と一緒に初めて参加しました。子ども達でストーリーを考えたと聞き、ビックリ!! どの子もはつらつとしていて、顔が輝いていました。“小さな学校されど宇仁小学校” どの子も主演。楽しそうに頑張ってる光景に心温まる思いをしました。幼稚園の年長さん3人だったけど、10人分程の出来栄で、見た孫がフラフラをサンタさんをお願いすると言っています。外でさつまいも汁を美味しくいただき、お代りをしていました。ご馳走さまでした。風船の話をしてやると飛ばしながら「行ってらっしゃーい、お友達つれてきてねー」と叫んでいました。楽しい時間をありがとうございました。



(初参加のおばあちゃん)

宇仁郷歴史資料館だより ④-22 近・現在の宇仁郷

(25) 記念式典と記念誌の発行

平成24年(2012)11月12日、宇仁小学校校舎改築・創立120周年記念事業として記念式典と記念誌の発行を目指した実行委員会が設立されました。委員会は、まちづくり協議会、区長会、PTA、学校、市議会議員、学校評議員から構成された4部会総勢130人の組織で、連携して式典に向けた準備が進められました。

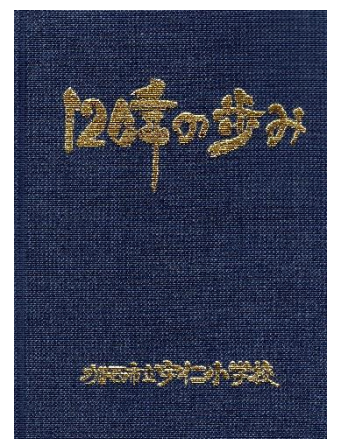
総務部(藤井祥忠部長)では、式典の企画を進め、財務部(宇仁博文部長)においては寄付を募り、事業部(稲木善英部長)では記念式典の段取りを進め、記念誌部(福田隆幸部長)では資料収集を行いました。寄付集めは宇仁郷6町・校区内個人10人・企業21社・校区外卒業生153人・式典祝儀24人等より総額10,237,000円の寄付をいただきました。

平成26年(2014)4月26日の記念式典の第1部と第2部には西村市長はじめ来賓110人をお招き厳粛に執り行われ、ハナミズキの植樹、記念碑の除幕、実行委員会より書籍(ふるさと文庫)と余剰金目録を、(株)シカタ(国正町)よりグランドピアノ・備品一式の贈呈がありました。第3部は児童たちも参加したアトラクションを楽しみました。アトラクション終了後新校舎の見学会を行い、また、6町各戸にお祝いの紅白まんじゅうをお配りしました。

記念誌は寄稿文校正、写真収集、沿革の調査などに苦労しましたが、福田隆幸さんの知人で京都芸大で学ばれた民輪香奈さん(国正町出身)の精細なタッチの挿絵と写真が調和し、著名な森川和謙さん(三木市在住)の表紙の執筆で重厚な記念誌になりました。寄付をいただいた方には記念誌と式典の様子を収録したDVDビデオ(繁田昭彦さん作成)を贈りました。



記念碑除幕式



記念誌の表紙

開館日 毎日曜日9時30分～12時